

大阪ヘルスケアパビリオン



外観

「大阪ヘルスケアパビリオン」では、ミライの都市生活やヘルスケアを体験できる。屋根は多様な個性が集まる大阪を体現。透明な膜屋根に水が流れ、滝のように水盤に落ちる美しい外観である。



コンセプトボード・触知図



トイレ入口に掲示されたコンセプトボードは、「みんなトイレ」完成までのプロセスや利用シーンをわかりやすく掲示。触知図や音声案内、ナビレンスも導入。さまざまな身体状況の方に利用しやすい案内を提供している。

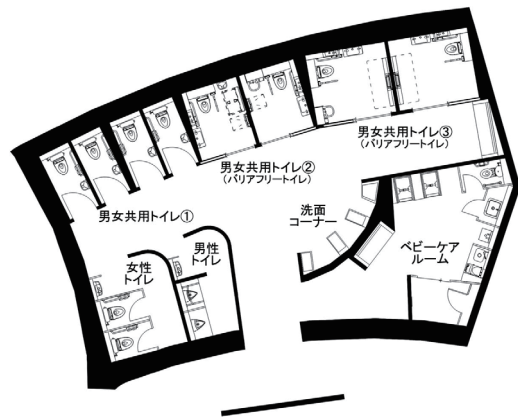


みんなトイレ入口

トイレ入口のサイネージ画面には、個室の使用状況を表示。天井には、紙おむつと淀川のヨシを再利用し、照明が組み込まれた紙管を採用。視認性向上のため、ピクトグラムの掲示高さや大きさにもこだわっている。

みんなトイレ図面

「誰もが分け隔てなく自由に選び、自然に使えるトイレ」を目指し、男女共用トイレやバリアフリートイレ、男女別トイレ、ベビーケアルームが設けられ、それぞれに必要な設備が整えられている。



水まわりの特長

建物の特徴

5年に一度世界1ヶ所のみで実施される国際的イベント「2025年日本国際博覧会（EXPO 2025）」が大阪市内の夢洲（ゆめしま）で開催。その注目のパビリオンである「大阪ヘルスケアパビリオン」は、大阪府と大阪市が、地域の産学官民と連携して出展。パビリオンは「REBORN（リボーン）」をテーマに、「いのち」と「健康」の観点から、2050年を想定した「ミライの都市生活」を体験できる。本館棟は、中央に吹き抜けのアトリウムを配置し、楕円形の展示エリアが有機的に重なり合う設計。膜屋根は多様な個性が集まる大阪を体現しており、屋根上から定期的に水が流れ落ちて循環するシステムを採用している。施設空間は、ユニバーサルデザインが積極的に取り入れられている。

トイレの特長

「みんなトイレ」と名付けられたトイレは、「誰もが使いやすい、ミライのトイレ」を目指している。車いす使用者、視覚・聴覚・知的・発達障がいなどさまざまな障がいを抱える方とその介助者、性的マイノリティ、医療的ケア児や子育て中の方など、従来のトイレに不便を感じる「お困りごと当事者」のメンバーと、ユニバーサルデザインのエキスパート、事務局、設計・施工受託者による大阪パビリオンのメンバー、TOTOなどの作り手企業で「UD推進チーム」を結成し、みんなでレイアウトを検討。さらに、TOTOテクニカルセンター大阪にて、設備や空間を確認、原寸大の図面上を歩いて動線や待ち列の位置を確認するなど、徹底的に検討を積み重ね、「自由に選べる、みんなに優しいトイレ」が完成した。

建築概要

名称	大阪ヘルスケアパビリオン
所在地	大阪府大阪市此花区夢洲中1-1-20 (2025年日本国際博覧会会場内)
施主	公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン
設計	株式会社東畑建築事務所
施工	株式会社竹中工務店 大阪本店
竣工年月	2024年10月
敷地面積	約10,500㎡
建築面積	約5,000㎡ (本館棟)
延床面積	約8,000㎡ (本館棟)
構造・階数	システムトラス構造、骨組膜構造、鉄骨造・地上2階 (本館棟)

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
ウォッシュレット アプリコットP (擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5831AUP
ウォッシュレット アプリコットP (温風乾燥付きエコリモコン):TCF5841AUP
棚付二連紙巻器:YH702／チャームボックス (汚物入れ):YKB102
自動洗浄小便器:UFS900WR／幼児用大便器:CS300B+S300BK
コンパクト・バリアフリートイレパック:UADAK01L1A1ANN2B、
UADAK01R1A1ANN2B／コンパクトオストメイトパック:UAS81R*B*NW
ベビーシート:YKA25系／ベビーチェア:YKA15S／フィッティングボード:YKA41R



男女共用トイレ①



約1000×2000mmの空間に、手すりとベビーチェアを設置。手すりは、左右どちらの壁に設置されているかをピクトグラムで確認が可能。呼出ボタンを押すと、扉前の非常灯が点灯する仕組みで、安心して利用できる。



男女共用トイレ②
(バリアフリートイレ)

約1800×2000mmの空間に、コンパクト・バリアフリートイレパックとベビーチェアなどを設置。発達障がいがある方などに興味・関心を持たせるアイキャッチとなるアートを掲示し、保護者も安心して利用できる。



男女共用トイレ③
(バリアフリートイレ)

約2500×2000mmの空間で、大型車いすに対応するトイレを左右勝手違いで2ヶ所用意され、コンパクトオストメイトパックや収納式多目的シートも完備。プライバシー配慮のカーテンや、入口に紙管でできたベンチも設置。



男性・女性トイレ



男女別トイレも設置。男性トイレは、大便器ブースを設置せずに小便器コーナーのみとしており、間仕切り壁を設置することでプライバシーに配慮している。また、各トイレに手洗いコーナーも備えられている。



ベビーケアルーム



おむつ替え、授乳、お子様の排せつができるベビーケアルームを設置。ベンチや手洗いができる洗面器も完備。授乳室は個室となっており、女性、男性ともに利用できる。



カームダウン・
クールダウンルーム



施設内には、横になれるスペースや動かせる椅子、クッション性のある壁素材を取り入れた、気持ちを静めるための専用個室を設置。間接照明、ダウンライトもそれぞれ調色・調光できるようになっている。